

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-G01	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
コミュニケーション活動Ⅰ			講義		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	1	植松 甫		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
学校行事や就職活動など、通常の科目の学習を越えた様々な学習活動を行う。 郊外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果が狙いである。							
授 業 の 概 要							
コミュニケーションを深めるとともに、集団生活における個々の役割・分担を再確認する。							
成 績 評 価 の 方 法							
出欠席で評価する。						出欠席	100%
使用テキスト・教材							
資料が必要な場合は配布する。							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	入学式		4				
2.	科内オリエンテーション		6				
3.	学生便覧・教務既定等 説明		6				
4.	前期成績発表		2				
5.	防災訓練		2				
6.	卒業研究発表会		8				
7.	進級発表		2				
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-G05	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
フレッシュマンセミナー			講義		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	1	植松 甫		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
沼津情報・ビジネス専門学校の学生として、地域社会に貢献するための行動を意識し、基本的な生活態度を身につける。オンライン授業へ対応するべく、必要なPCセットアップ等を実施する。							
授 業 の 概 要							
アクティビティやワークを繰り返す中で、授業を受ける体制を整え学習ツールの使い方等を理解する。							
成 績 評 価 の 方 法							
出欠席や授業態度等で総合的に評価する。						出欠席	80%
						授業態度	20%
使用テキスト・教材							
なし							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. 対オンライン授業のセットアップ			16				
2. 学科内授業ツールのセットアップ			4				
3. 入学後の提出物確認・指導要録記入			8				
4. 心理学講師の「心の授業」			2				
その他				関 連 科 目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				T-G06	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
キャリア教育			講義・演習		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	植松 甫
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を知る。 「働く」とはどういうことか、「稼ぐ」とはどういうことか、職業観を身近に捉え、社会人準備生として労働の心構えを修得する。					
授 業 の 概 要					
コミュニケーションの基本的な考え方とスキルを訓練する。 学生気分から社会人準備生としてもう一段上の考え方ができるよう、成人としてのマインドセットを行う。					
成 績 評 価 の 方 法					
出欠席及び授業態度をもとに評価を行う。				出 欠 席	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
必要に応じて講師よりプリントを配布する。					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. 授業概要説明 「はたらく」「稼ぐ」とは		2	11. 職業観と働き方		2
2. 金という存在		2	12. 時代の変遷と世の中の価値		2
3. 学生と社会人の差		2	13. 求められている人材と自己のギャップ		4
4. 労働と対価		2			
5. 行動と責任 上司と部下		2			
6. 仕事とコミュニケーション (報連相)		2			
7. 業務コミュニケーション① (依頼・請負)		2			
8. 業務コミュニケーション② (電話)		2			
9. 業務コミュニケーション③ (会議)		2			
10. 議事録と議事録取得演習		4			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				T-G10	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
コミュニケーションスキル			講義		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	植松 甫
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
「わかりやすく」「簡潔に」「印象深く話す」という、相手に伝えるための基本となる3つの要件を理解できる。相手に好印象を与える話し方や聞き方のポイントが理解できる。					
授 業 の 概 要					
ビジネスコミュニケーションの基本は自分の考え方や思いを誤解されないように伝えることである。「伝える力」は誰もが身に付けたいスキルであり、伝える力を伸ばすためには、話す力を磨くことが重要である。話す力の向上を目指し、3つの原則について学ぶ。					
成 績 評 価 の 方 法					
スクーリングの評価・実績を基に成績を決定する。					スクーリング 100%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「話す力を磨く」 産業能率大学					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. 授業概要説明		2	11. スピーキング実習①		2
2. 話す力は磨けば光る		2	12. スピーキング実習②		2
3. 第一印象の重要性		2	13. スピーキング実習③		2
4. わかりやすく話す		2	14. スピーキング実習④		2
5. 簡潔に話す		2	15. まとめ②		2
6. 印象深く話す①		2	16. 質疑応答		2
7. 印象深く話す②		2			
8. 質疑応答		2			
9. まとめ①		2			
10. 「聞く力」を磨く		2			
その他			関連科目		
			産業能率大学開講科目「伝える力を伸ばす」に相当する。		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2023 年度
時間数は45分換算				T-G11	
授 業 科 目 名		授業形態		学科・コース	
情報分析入門		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	植松 甫
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
自用法の入手と利用に関する基本的手法および情報分析についての基本的な考え方を説明でき、有効に活用できる。テキストに記載された事例などを応用し、仮説の設定⇒分析⇒意思決定を繰り返し行い、現実社会の事例に当てはめて応用できる。					
授 業 の 概 要					
情報収集が多量かつ簡単に手に入れられる世の中において、その情報の真偽を判断することと正確に活用することが問われる。説得・納得のための情報活用は円滑な意思疎通に繋がり課題解決にも活きる。社会人として必要な情報分析ができるよう、情報の利活用方法を中心に学ぶ。					
成 績 評 価 の 方 法					
スクーリングの評価・実績を基に成績を決定する。					スクーリング 100%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「情報分析力を鍛える」 産業能率大学					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション、情報分析力とは		2	11. ビジネスのフレームワークを活用する		2
2. 情報分析力を考える		2	12. 情報を正確に読み取る		2
3. 情報の種類		2	13. ビジネス情報の読み取り方		2
4. 情報分析のポイント		2	14. 情報分析実践 ケーススタディ		2
5. データを切り分けて比較する		2	15. 分析力トレーニング		2
6. データ傾向をつかみ、意味を読み取る		2	16. 質疑応答		2
7. データを視覚化する		2			
8. 質疑応答		2			
9. 切り分けて整理する		2			
10. データを比較して意味付ける		2			
その他			関連科目		
			産業能率大学開講科目「情報分析力を鍛える」に相当する。		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				T-G12	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
マネジメント入門			講義		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	植松 甫
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
経営学の考察対象である企業について、その様々な活動内容や諸特性について理解し、そうした知識を社会生活や実践に役立つものにする。経営学の理論や特性の理解だけでなく、それを応用できる能力を身に付け、今後経営学の様々な分野を学習する際の糧とすることができる。					
授 業 の 概 要					
経営学とは何か、企業とは何かを基礎的内容から学ぶ。企業を知り、企業を考察し、企業の仕組みや活動を理解することで、体系的に経営学を学ぶことに繋げる。					
成 績 評 価 の 方 法					
スクーリングの評価・実績を基に成績を決定する。					スクーリング [*] 100%
使用テキスト・教材					
産業能率大学配本テキスト：「経営学を楽しく学ぶ」 中央経済支社					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. 授業概要説明、企業の役割		2	11. 企業間関係を学ぶ 戦略的な判断		2
2. 企業イメージ		2	12. 経営戦略 環境への適応		2
3. 企業を理解する		2	13. 経営組織 企業組織に関する構造上の特性		2
4. 企業とは何か、基本的事項のまとめ		2	14. 環境と経営資源		2
5. 経営者の仕事 経営者の役割期待		2	15. 授業内容の確認		2
6. 経営者の仕事 企業全体の方向性		2	16. 質疑応答		2
7. 授業内容の確認		2			
8. 質疑応答		2			
9. 企業の仕組みを学ぶ		2			
10. 企業間関係を学ぶ 関係構築の必要性		2			
その他			関連科目		
			産業能率大学開講科目「経営学入門」に相当する。		

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-G13	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
簿記 I			講義		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	2	竹内 大貴		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
複式簿記の特徴を理解し、基本的な取引の仕訳が作成できる。 複式簿記の構造を理解し、仕訳から総勘定元帳へ転記ができ、総勘定元帳から試算表を作成できる 貸借対照表と損益計算書の特徴を理解し、試算表からこれらを作成できる。							
授 業 の 概 要							
初めて簿記を学ぶ学生を対象に簿記の最も基本的な骨組みを徹底的に学ぶことで、経営者視点を身に付け、ビジネスの世界をより深く理解できるようになることを目指す。日商簿記3級の資格取得を目指す。							
成 績 評 価 の 方 法							
期末試験と出欠席によって評価する。						期末試験	90%
						出欠席	10%
使用テキスト・教材							
産業能率大学配本テキスト：「はじめての人の簿記」かんき出版							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 簿記って何？			2	11. 仕訳に慣れよう			2
2. 簿記一巡の流れ			2	12. 仕訳に慣れよう			2
3. 貸借対照表って何？①			2	13. 決算整理とは？			2
4. 貸借対照表って何？②			2	14. 決算整理とは？			2
5. 貸借対照表って何？③			2	15. 決算書・清算表の作成			2
6. 損益計算書って何？①			2	16. 質疑応答			2
7. 損益計算書って何？②			2				
8. 質疑応答			2				
9. 仕訳のルールを学ぶ			2				
10. 仕訳に慣れよう			2				
その他				関連科目			
				産業能率大学開講科目「簿記を基本から学ぶ」に相当する。			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				T-SR35	
授 業 科 目 名		授業形態		学 科 ・ コー ス	
ICT 利用技術		講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	植松 甫
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
この講義は入学後、パソコンの利用に慣れるために実施するものである。企業入社後や様々な環境への配属直後は高度専門士として迅速な環境応対を要求される。それらに 대응していくための模擬訓練と位置付ける。前半は標準的な PC セットアップやトラブルシューティングの方法を学習する。プリンタおよびネットワーク・インターネットへの接続方法、セキュリティへの考え方等、IT リテラシの向上に繋がる実践的な知識を習得する。後半は Word 基本操作習得と合わせてレポートの書き方を学ぶ。					
授 業 の 概 要					
スマートフォンが中心になった世の中で PC 操作に慣れていないという人も多い。Word 文書作成も含め「実践的な講義」となるため、全員が高評価を取得できるように学習して欲しい。					
成 績 評 価 の 方 法					
出欠、レポート課題等で評価する。				レポート	80%
				出欠席	20%
使用テキスト・教材					
・ 30 時間でマスター Word2019 (実教出版) ・ 教員作成のオリジナルプリント (講義スライド)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. PC セットアップ① (OS と初期操作)		2			
2. PC セットアップ② (NW とプリンタ)		2			
3. トラブルシューティングとメンテナンス		2			
4. モバイルデバイスとセキュリティ		2			
5. BYOD と情報倫理		2			
6. ストレージ (USB・外付 HDD・サーバ)		2			
7. Windows 以外の情報世界		2			
8. Word 基本操作①		4			
9. Word 基本操作②		4			
10. レポート (Word 作成) の書き方		6			
11. 学習成果確認		2			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード	
				T-SR36	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
プレゼンテーション			講義・演習		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	植松 甫
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
ビジネススキルとしてもはや標準である PowerPoint の操作に慣れ、今後スムーズな資料作成ができるようになることを目標とする。スライドの作成だけでなく、人前で話し、説明するスキルも磨く。					
授 業 の 概 要					
PowerPoint は資料を作成するだけでなく、プレゼンテーションツールとして人前で説明するところまでで1セットである。スライド作りだけで満足することなく、人を説得する、人に見てもらうことを念頭に置いた総合的演習を行う。					
成 績 評 価 の 方 法					
ミニ演習の評価、制作したスライド発表、出欠席で評価する。				演習評価	10%
				制作発表	80%
				出欠席	10%
使用テキスト・教材					
・30 時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2019 (実教出版) ・担当教員作成の講義スライド					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. パワーポイントの基本操作 (文字と図形)		2	11. フィラーと克服訓練		2
2. パワーポイントの基本操作 (デザイン・画像・グラフ)		2	12. プレゼンテーション総合演習①		2
3. テキスト描画の注意点		2	13. プレゼンテーション総合演習②		2
4. ミニ演習 (1 枚スライドと説明資料)		2	14. プレゼンテーション総合演習③		2
5. ダメ出しの少ない資料①②		2			
6. プレゼンテーション技法を学ぶ意義		2			
7. プレゼンテーションの仕事		4			
8. スライドの基本的作り方		2			
9. 人前で話すことを考える		2			
10. 演じる必要性		2			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)			年 度		2023 年度
			科目コード		T-SR37
時間数は4 5分換算					
授 業 科 目 名		授業形態	学科・コース		
表計算利用技術		演習	高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	清 慶治
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
Microsoft Office Specialist (Excel2019) の資格取得を目的とする。					
授 業 の 概 要					
模擬問題を解きながら、MOS 取得に必要な技能を養成する。 講義終了直後、クラス全員が MOS を受験する。 日頃から自主学習を行うことが望ましい。					
成 績 評 価 の 方 法					
授業中に行う模擬試験および期末試験、出席率・授業態度などを考慮して評価。ただし、MOS に合格した場合は科目目標到達と見做し、科目合格とする。				試験結果	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
日経 BP 社「MOS 攻略問題集 Excel2019」					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. 模擬問題、実習データのインストール		2			
2. ワークシートやブックの作成と管理		4			
3. セルやセル範囲のデータの管理		2			
4. テーブルの作成		2			
5. 数式や関数を使用した演算の実行		4			
6. グラフやオブジェクトの作成		2			
7. 模擬問題 (練習モード)		6			
8. 模擬問題 (本番モード)		6			
9. 表計算の試験		2			
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-SR38	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
コンピュータ概論			講義		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	2	横田 一輝		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
仕事上での様々な問題を解決するために、最適な手法や数値を導き出すのに必要とされる知識を習得する。具体的には、情報処理試験に出題される情報数学や、経営科学的手法、数理的手法を学ぶ。基本情報技術者試験、IT パスポート試験の合格を目指す。							
授 業 の 概 要							
前項で示した学習内容は、企業経営を支援するときに必要とされる知識です。情報処理試験で必要となる応用数学や経営科学的手法が理解できるようになります。							
成 績 評 価 の 方 法							
期末試験、出欠席で評価。					期末試験	80%	
					その他	20%	
使用テキスト・教材							
IT 戦略とマネジメント (第1部 第3章 「経営科学」)、補足プリント							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 応用数学 (集合、命題)			2				
2. 応用数学 (確率)			2				
3. 応用数学 (統計)			2				
4. 応用数学 (数値解析)			2				
5. 応用数学 (待ち行列)			2				
6. 応用数学 (グラフ理論)			2				
7. OR (線形計画法、日程計画)			2				
8. OR (在庫管理、発注方式)			2				
9. OR (ゲーム理論)			2				
10. OR (最適化問題)			2				
11. IE (経営工学) 分析手法			2				
12. QC (品質管理) 手法			2				
13. 業務分析 (データ収集技法、データ整理技法)			2				
14. 業務分析 (図解・グラフ、データ分析手法)			2				
15. まとめ、演習問題			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度		
時間数は4 5分換算				科目コード		T-SR39		
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース			
ソフトウェア			講義		高度 IT ビジネス科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	前期	必修	30	2	内田 正章			
授 業 の 目 的 ・ 目 標								
ソフトウェアの体系、プログラム言語、言語プロセッサ、オペレーティングシステムなどの基礎知識を学ぶ。基本情報技術者試験、IT パスポート試験の合格を目指す。								
授 業 の 概 要								
学習範囲はかなり広範囲にわたりますが、基本情報技術者試験や IT パスポート試験で中心となる分野です。一步一步確実に理解していくことが大切です。								
成 績 評 価 の 方 法								
筆記試験 (出欠席状況、受講態度も評価に加味します)						期末試験	80%	
						その他	20%	
使用テキスト・教材								
IT ワールド (第3部 「ソフトウェア」)、補足プリント								
授業内容・授業計画								
			時間数					時間数
1. ソフトウェアの分類			2					
2. ソフトウェアライセンスによる分類			2					
3. OS の機能と構成、OS の管理機能 (ジョブ管理)			2					
4. OS の管理機能 (タスク管理)			2					
5. OS の管理機能 (実記憶管理)			2					
6. OS の管理機能 (仮想記憶管理)			2					
7. OS の管理機能 (その他の管理機能)			2					
8. プログラム言語の分類			2					
9. 言語プロセッサ (種類)			2					
10. 言語プロセッサ (サービスプログラム、プログラムの属性)			2					
11. ファイルとレコード、ファイルのアクセス方式			2					
12. ファイルの編成方式、VSAM 編成ファイル			2					
13. 小型コンピュータのファイル管理、バックアップ			2					
14. まとめ			2					
15. 演習問題			2					
その他				関連科目				

シラバス (授 業 概 要)		年 度		2023 年度	
		科目コード		T-SR40	
授 業 科 目 名		授業形態		学 科 ・ コー ス	
ハードウェア I		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	4	浅田 豊子
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
・ 基本情報技術者試験の合格レベルの知識を学ぶ。コンピュータのハードウェアに焦点を置いた授業とし、データ表現、主記憶装置、CPU、補助記憶装置、入出力装置を学習する。後半は情報処理システムに焦点を当て、高信頼化システムの構成、情報処理システムの評価、ヒューマンインタフェース、マルチメディアなどを学ぶ。					
授 業 の 概 要					
授業は教科書中心に行う。特に計算問題などは基礎が必要なのでよく学習してほしい。 資格の合格を目指して授業を行うため日頃の自習が望ましい。					
成 績 評 価 の 方 法					
出欠席および期末試験などで評価。				期末試験	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
ITワールド (第一部、第二部) 補足プリント					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
	時間数		時間数		
1. コンピュータの歴史、コンピュータの五大装置	2	12. 高速化技術、磁気ディスク	2		
2. データの表現	2	13. 光ディスク、入力装置	2		
3. 基数と基数変換 (2 進数、8 進数)	2	14. 出力装置、入出力制御方式、入出力 インタフェース	2		
4. 基数と基数変換 (2 進数から 10 進数への基数 変換、10 進数から 2 進数への基数変換等)	2	15. まとめ① 中間演習	2		
5. データの表現形式 (文字データ、数値データ 10 進表記)	2	16. 情報処理システムの処理形態	4		
6. データの表現形式 (数値データ 2 進表記、固定小数点数)	2	17. 高信頼化システムの構成	4		
7. データの表現形式 (数値データ 2 進表記、浮動小数点数、誤差)	2	18. 情報処理システムの評価	6		
8. データの表現形式 (シフト演算)	2	19. ヒューマンインタフェース	4		
9. 中央処理装置の構成、主記憶装置の構成、 主記憶装置の構成要素、主記憶装置の容量拡張	2	20. マルチメディア	6		
10. 命令とアドレッシング	2	21. まとめ② 総合演習	6		
11. ALU の構成回路	2				
その他		関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-SR41	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
アルゴリズム			講義・演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	60	4	植松 甫		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
プログラムを理解／作成する上で必要となる問題解決のための手順について学習する。前半はフローチャートによるトレースや基本的な処理の流れを追えるように学習を深め、後半は基本情報技術者試験を意識した擬似言語の学習を行う。変数、配列、比較処理、繰返し処理、2重ループ、文字列処理、探索処理、整列処理といったロジック思考の基礎を固めることを目標とする。後半は基本情報技術者試験への挑戦に向けて、疑似言語を中心とした練習問題を中心に講義を進める。							
授 業 の 概 要							
例年、ロジカルな考え方に付いていくことが難しい学生を多く見かける。反復練習、自己復習で十分に補える内容なので、途中で投げ出さずに定着を図ってもらいたい。ロジカルシンキングは苦手な学生も多いが、試験突破・社会人としての基礎教養として確実に身に付けてもらいたい。							
成 績 評 価 の 方 法							
期末試験結果および出欠状況で評価。						期末試験	90%
						その他	10%
使用テキスト・教材							
データ構造とアルゴリズム インフォテックサーブ							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. イントロダクション			2	1. 基礎の復習			2
2. フローチャートと演算子			2	2. 順位付け処理			2
3. 基本制御構造と繰返し処理			2	3. 線形探索			2
4. 疑似言語理解①			2	4. ハッシュ探索			2
5. 疑似言語理解②			2	5. 2分探索			2
6. 復習／演習Ⅰ			2	6. 復習／演習Ⅰ			2
7. 配列			2	7. 文字列比較			2
8. ハッシュ			2	8. 文字列転記			2
9. 復習／演習Ⅱ			2	9. クイックソート			2
10. リスト操作 (データ追加)			2	10. 復習／演習Ⅱ			2
11. リスト操作 (データ削除)			2	11. 木構造			2
12. 復習／演習Ⅲ			2	12. 実数計算処理			2
13. スタック			2	13. 数値処理と配列			2
14. キュー			2	14. 復習／演習Ⅲ			2
15. 復習／演習Ⅳ			2	15. グラフ処理			2
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2023 年度
時間数は45分換算					科目コード	T-SR42
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
システム開発基礎			講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	横路 岳彦	
授 業 の 目 的 ・ 目 標						
この授業では、情報システム戦略、システム開発技術、ソフトウェア開発技術、システム開発環境、Webアプリケーション開発について学習する。ITパスポート、基本情報技術者試験に出題される用語について、その概要を理解し問題に対応できる知識を習得し、情報システム戦略の意義とシステム開発の方法・手順を理解することを目標にしている。						
授 業 の 概 要						
IT戦略とマネジメント（第3部、第4部）を使用して情報システム戦略、システム開発技術、ソフトウェア開発技術、システム開発環境、Webアプリケーション開発について学習し、補足プリント（要点の整理、課題や問題）や期末試験でその理解度を確認していく。						
成 績 評 価 の 方 法						
期末試験の成績と授業中に提出してもらう課題や問題回答の双方にて評価する。					期末試験	80%
					課 題	20%
使用テキスト・教材						
IT戦略とマネジメント（第3部、第4部）、補足プリント						
授業内容・授業計画						
			時間数			
1. 情報システム戦略のプロセス （全体システム化計画）			2	11. ソフトウェア開発手法、ソフトウェア 設計手法（構造化設計）		
2. 情報システム戦略のプロセス （情報化投資計画、情報システム戦略の実行）			2	12. ソフトウェア設計手法（オブジェクト 指向設計）、開発プロセス		
3. 業務プロセスとソリューションビジネス			2	13. 知的財産適用管理、構成管理・変更		
4. 企画プロセス／開発計画			2	管理、Web アプリケーション		
5. 要件定義プロセス／調達			2	14. まとめ		
6. システム開発技術、システム開発プロセス			2	15. 演習問題		
7. システム開発プロセス			2			
8. ソフトウェア実装プロセス			2			
9. ソフトウェア実装プロセス （ソフトウェア構築プロセス）			2			
10. ソフトウェア実装結合プロセス、 保守・廃棄プロセス			2			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2023 年度
時間数は45分換算				T-SR43	
授 業 科 目 名		授業形態		学 科 ・ コー ス	
データベース基礎		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	浅田 豊子
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
・データベース設計に関する知識、方法を習得し、簡易なものでは自ら設計できる。 ・DBMS (管理機能)、特にDDL・DMLやトランザクションが理解できる。 ・SQL操作、特に4大操作とテーブル結合、副問合せまでが利用できる。					
授 業 の 概 要					
基本情報技術者試験、ITパスポート試験合格を目指します。データベースの種類、特徴、データベースモデル、3層スキーマの基本的な考え方やデータベース管理システムの目的、代表的な機能などデータベースの基礎的な学習を行います。用語を覚えることを中心に学習します。更に情報処理試験でも中心となる分野です。一步一步確実に理解し、自分のものにしてください。					
成 績 評 価 の 方 法					
筆記試験、出欠席で評価。				期末試験	80%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
・ITワールド (第4部) インフォテック・サーブ社 ・説明補助プリント					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. データベースの概要① DB とファイルの違い、DB の設計 (データモデル)		2	9. "DB 管理システム (DBMS) DB トランザクション管理		2
2. DB 設計 (関係モデル) 関係演算 (選択、射影、結合、商)、集合演算 (和、差、積、直積)		2	(ACID 特性: 原子性、一貫性、分離性、持続性) "		
3. DB の概念設計 (E-R モデル)		2	10. SQL① データ定義① (DB の定義、		2
4. DB の論理設計 (正規化の目的と手順)		2	テーブルの定義、ビューの定義)		
5. DB の論理設計 (第一正規化、第二正規化、第三正規化)		2	11. SQL② データ定義② (アクセス権		2
6. "DB 管理システム (DBMS) DB 定義機能 (概念スキーマ、外部スキーマ、内部スキーマ) "		2	の定義、データの格納)		
7. DB 管理システム (DBMS) DB 操作機能 DB 制御機能 (保全機能: 排他制御、デッドロック、セマフォ方式他)		2	12. SQL③ データ操作① (条件指定のない参照、条件指定のある参照、グループ化)		2
機密保護機能: 暗号化、アクセス権、ログファイル他)			13. SQL④ データ操作② (データの整		2
8. "DB 管理システム (DBMS) DB 制御機能 (障害回復機能: ロールフォワード、ロールバック、ウォームスタート、コールドスタート他) "		2	列、テーブルの結合、副問合せ他)		
			14. いろいろなデータベース (分散DB、		2
			データウェアハウス、その他関連技術)		
			15. 演習問題		2
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				T-SR44	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
I T戦略とマネジメント			講義		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	鈴木 孝昌
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
企業活動、企業会計、標準化、関連法規、経営戦略、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査、内部統制について学習します。					
授 業 の 概 要					
I Tパスポート、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験に出題される問題について、その概要を理解し対応できる基礎知識と応用力を習得します。					
成 績 評 価 の 方 法					
学期末試験の成績で評価。					期末試験 100%
使用テキスト・教材					
IT 戦略とマネジメント (第1部3章以外、第2部、第5部、第6部、第7部)					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		
1. 企業と法務 企業活動の目的	2	16. e ビジネス、民生機器と産業機器	2		
2. 企業の組織体系、経営管理	2	17. 前期期末試験	2		
3. 企業会計 損益計算書、損益分岐点分析	2	18. プロジェクトマネジメントの概要	2		
4. 知的財産権	2	19. 統合マネジメント、スコープマネジメント	2		
5. セキュリティ関連法規	2	20. タイムマネジメント、コストマネジメント	2		
6. 労働関連・取引関連法規	2	21. 品質マネジメント、リスクマネジメント	2		
7. その他関連法規	2	22. その他マネジメント	2		
8. コンプライアンス	2	23. サーマネジメント 概要	2		
9. 標準化と認証制度	2	24. サービスの設計・移行	2		
10. 経営戦略経営戦略手法	2	25. サーマネジメントプロセス、運用	2		
11. マーケティング	2	26. ファシリティマネジメント	2		
12. ビジネス戦略と目標評価	2	27. システム監査 目的と考え方	2		
13. 経営管理システム	2	28. システム監査の実施手順	2		
14. 技術開発戦略の立案、マネジメント	2	29. システム監査技法と報告	2		
15. ビジネス・エンジニアリングシステム	2	30. 後期期末試験	2		
その他	関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
				科目コード		T-SR45	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ネットワーク基礎			講義		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	2	小山 幸三郎		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
実際のお客様システムをベースに、「IT システムの全体構造とそれを支えるネットワークの基盤技術」を修得します。併せて基本情報技術者/IT パスポート資格の取得を目指します。							
授 業 の 概 要							
ネット/サーバプロトコル等の単体技術だけでなく、それらが「実際にどう組合わされ、どう動くのか？」の視点から「IT システムの全体」を捉えるようにして下さい。学習事項のいずれも重要であり、2 学年以降の学習や実 IT 現場で活躍するためのベースとなりますので、確実に理解するようにして下さい。							
成 績 評 価 の 方 法							
講座内での演習課題と前期期末試験および出欠席状況					期末試験	40%	
					課 題	40%	
					その他	40%	
使用テキスト・教材							
1)ネットワーク基礎テキスト(AP1.システム全体構造&インフラ,AP2.TCP/IP プロトコル,AP3.システムアクセスフロー&セキュリティ対策)							
2)演習課題/基本情報処理試験過去問題と解説							
3)基本情報技術者教室(第 7 章ネットワーク技術)							
4)IT ワールド(第 5 部ネットワーク)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. "イントラ/インターネットシステムの全体構造とそれを支えるネットワーク基盤技術"			2	9. TCP/IP-3>ARP/ICMP 機能,ネット管理 (SNMP/Ping/IPconf),<総合演習&まとめ>			2
2. LAN-1>LAN 基本構造と接続形態,中継器の相違と選択,Ethernet とトラフィック制御			2	10. アクセス-1>イントラ/インターネットシステムの構造, DMZ/FireWall とセキュリティ対策			2
3. LAN-2>L2sw 機能(MAC スッチング),L3sw/Router 機能(IP ルーティング),無線 LAN			2	11. アクセス-2>DNS 名前解決,WWW アクセスと環境設計,Proxy とインターネットアクセス			2
4. WAN-1>WAN 接続と通信キャリア,高速デジ/ISDN/FR/ATM/IPVPN/広域 Ether 接続			2	12. アクセス-3>MAIL アクセスと環境設計,インタネットドメイン構造と RootServer			2
5. WAN-2>同キャリアサービスの効果的選択,インターネット接続と VPN(暗号化)			2	13. アクセス-4>攻撃 (IPS/IDS,FW,Antivirus,WAF),脆弱性診断			2
6. WAN-3>通信速度(データ量と転送時間、伝送制御手順とコネクション/同期誤り制御)			2	14. アクセストラブル切分け基本, <総合演習&まとめ>			2
7. CP/IP-1>通信プロトコル(OSI,TCP/IP),TCP/IP 構造と MAC/IP/Port によるノード接続			2	15. 演習課題/基本情報技術者試験過去問題/テキスト章末問題による総まとめとフォロー			2
8. CP/IP-2>IP アドレスとサブネット,NAT/NAPT アドレス変換,TCP コネクション/UDP			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2023 年度
時間数は45分換算				T-SR46	
授 業 科 目 名		授業形態		学 科 ・ コー ス	
情報セキュリティ基礎		講義		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	小山 幸三郎
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
実際のセキュリティ被害の事例をベースに「情報資産に対するセキュリティ対策の基本とその重要性」を修得すると共に、基本情報技術者/IT パスポート資格の取得を目指します。					
授 業 の 概 要					
現代社会を支えている IT システムの停止や情報漏洩は大きな社会問題となります。このため情報セキュリティに対する基本知識の修得は極めて重要です。多くの学習事項がありますが、「お客様の情報資源を守り、且つ必要な時に的確に情報提供するために何をすべきか？」の視点で学習に取り組んで下さい。					
成 績 評 価 の 方 法					
講座内での演習課題と後期末試験及び出欠席状況で評価する				演習課題	40%
				期末試験	40%
				その他	20%
使用テキスト・教材					
1)情報セキュリティ基礎テキスト(AP4.情報セキュリティ基本/脅威/対策,暗号化/PKI 公開基盤,ネットセキュリティ,セキュリティマネジメント) 2)演習課題,基本情報処理試験過去問題と解説 3)基本情報技術者教室 (第9章情報セキュリティ) 4)IT ワールド (第6部セキュリティ) インフォテック・サーブ社					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. 情報セキュリティの基本(機密/完全/可用性,脆弱性と脅威(物理/人/技術),IPA 被害事例と教訓)		2	8. 脅威&対策-3>演習課題&基本情報技術者試験過去問題による攻撃と対策まとめ		2
2. ネットセキュリティ-1>システム全体構造(外部/DMZ/内部),主要構成コンポーネント(FW/IPS/WAF/Proxy,他)		2	9. 暗号&認証-1>暗号化の必要性和手法(共通/公開鍵方式/ハイブリッド 暗号による課題解決)		2
3. ネットセキュリティ-2>システムアクセスフロー(イントラ/インターネット WWW アクセスと DNS/Proxy/Root/NAT/VPN,他)		2	10. 暗号&認証-2>正当性の確認(デジタル署名,認証局による公開鍵の正当性確認)		2
4. ネットセキュリティ-3>システムアクセスフロー(イントラ/インターネット Mail アクセスと POP/SMTP/DNSmx/Mail ルーティング,他)		4	11. 暗号&認証-3>公開鍵基盤 PKI の実装 (SSL/TLS-www/SMTPS-mail アクセスの実例)		4
5. ネットセキュリティ-4>システムアクセスフローまとめ,補足 (Proxy/検疫/アクセスログ/パケットレシジョン/運用管理/無線,他)		2	12. ユーザ認証>リアルタイムスコアバック/2要素/バリエーション,他、情報セキュリティマネジメントとリスク管理		4
6. 脅威&対策-1>主要攻撃(標的型,Dos/DDos,Flood/踏み台,SQLインジェクション,XSS,CSRF,他)		2	13. 情報セキュリティ全体のまとめ 演習課題/基本情報技術者試験過去問題/テキスト章末問題による総まとめとフォロー		2
7. 脅威&対策-2>主要攻撃(続き:DNSキャッシュポイズン,辞書,ソーシャルエンジニアリング他),ウイルス/マルウェアと対策		2			
その他			関連科目		

				年 度		2023 年度			
シラバス (授 業 概 要)				時間数は45分換算		科目コード		T-SR49	
授 業 科 目 名				授業形態		学科・コース			
プログラミング入門				講義・演習		高度 IT ビジネス科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員				
1	前期	必修	30	2	野田 清文				
授 業 の 目 的 ・ 目 標									
・本格的にプログラミングを学ぶ前の導入科目である。 ・頭の中で考えているアイデアをプログラムとして実現する方法と、それに伴う論理的な思考のスキルを身につけることを目標とする。									
授 業 の 概 要									
Scratch を使い、サンプルのプログラムを作りながらプログラミングのポイントについて学びます。このサンプルプログラムから発展した課題に取り組むことで、頭で理解するだけでなく仕組みがきちんと身につき、プログラミングの仕方が「わかる」ようになります。									
成 績 評 価 の 方 法									
提出課題の内容、出欠席状況で評価。						課題	50%		
						出席	50%		
使用テキスト・教材									
Scratch で学ぶ プログラミングとアルゴリズムの基本 改訂第2版 中植 正剛 (著), 太田 和志 (著), 鴨谷 真知子 (著)									
授業内容・授業計画									
			時間数					時間数	
第1章 Scratch の基本			2						
第2章 プログラムの流れ			1						
第3章 変数と配列の使い方			1						
課題1			2						
第4章 構造化プログラミング			1						
第5章 関数の使い方			1						
課題2			2						
第6章 サーチ(探索)			2						
第7章 ソート(整列)			2						
第8章 その他のソート			2						
課題3			2						
第9章 クローンの使い方			2						
自由課題制作			10						
その他				関連科目					
※PC に Scratch 開発環境をインストールします。				プログラム言語 I、アルゴリズム					

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2023 年度
時間数は45分換算				T-SR50	
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス
プログラム言語 I			講義・演習		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	植松 甫
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
Java 言語を使ってオブジェクト指向言語の開発に必要なクラス、インスタンス、コンストラクタ等の内容を段階的に学習し、基礎的なプログラム作成ができることを目標とする。 基本情報処理技術者試験、Java プログラミング能力認定試験 3 級、理解力によっては 2 級に合格できる知識を習得することが望ましい。					
授 業 の 概 要					
講義ではパソコン上で実際にプログラム作成することを重視する。 小テスト・演習問題・テキストを確実に、かつ何回も解いていくことで理解が深まる。 理解不足の箇所があるとリカバリが難しくなるので、単元毎で確実に理解してほしい。					
成 績 評 価 の 方 法					
期末試験の結果及び演習課題の状況、出欠席等で評価。					期末試験 80% 演習課題 10% その他 10%
使用テキスト・教材					
「スッキリわかる Java 入門」 インプレス社					
授業内容・授業計画					
	時間数			時間数	
1. Java 言語と基礎知識	2	16. メソッドと main メソッド		2	
2. Java プログラムの基本構造	2	17. 引数と使い方		2	
3. 変数宣言の文	2	18. 戻り値の概念と使い方		2	
4. 計算文とオペランドと演算子	2	19. オーバーロード		2	
5. 型変換と命令実行文	2	20. 引数・戻り値と配列の組合せ		2	
6. プログラムの流れと書き方	2	21. ソースファイルの分割		2	
7. 条件式の書き方と分岐構文	2	22. 複数クラスで構成されるプログラム		2	
8. 繰返構文のバリエーションと文法	2	23. オブジェクト指向の必要性		2	
9. 制御構造の応用	2	24. オブジェクト指向の定義とクラス		2	
10. 配列のメリットと書き方	2	25. 継承・多態性・カプセル化		2	
11. 配列と例外	2	26. インスタンスとクラス		2	
12. 配列データをまとめて扱う	2	27. main メソッドのないクラス		2	
13. ガベージコレクションと null	2	28. クラス定義とフィールド定義		2	
14. 多次元配列	2	29. インスタンスと様々なルール		2	
15. 復習①	2	30. 復習②		2	
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。		プログラミング入門			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-SR19	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
オブジェクト指向設計			講義・演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	2	浅田 豊子		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
オブジェクト指向は現在主流となっているソフトウェアの開発技法で、UMLはその表記法である。 「astah professional」を使ってUMLの主なダイアグラム (図) を記述できるようになる。							
授 業 の 概 要							
UMLの主なダイアグラム (図) について、用途と「astah professional」を使った表現を学習する。操作方法を覚えるだけでなく、「自分で考えて」表現することを心掛ける。							
成 績 評 価 の 方 法							
期末試験の得点と課題と学習意欲(出席状況等)で判定する。						期末試験	70%
						課 題	20%
						学習意欲	10%
使用テキスト・教材							
「ゼロからわかる UML 超入門」／河合昭男 著 (技術評論社)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 「astah professional」設定 オブジェクト指向とは (概論)			2	11. インタフェース、課題			2
2. オブジェクト、UML、モデルとは			2	12. 集約、コンポジション、課題			2
3. クラス			2	13. ユースケース図			2
4. オブジェクト図、クラス図			2	14. アクティビティ図、パッケージ図			2
5. リンク、関連、多重度、課題			2	15. オブジェクト指向開発プロセス			2
6. コミュニケーション図			2				
7. シーケンス図			2				
8. ステートマシン図、課題			2				
9. クラスの分類、汎化関係、継承			2				
10. 抽象クラス			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2023 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	T-SR59
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
ネットワーク応用			講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	60	2	小山 幸三郎	
授 業 の 目 的 ・ 目 標						
「ネットワーク基礎(1 学年)」技術をベースに、実機によるシステム構築と事例解説によりお客様の 実現場で要求される「ネットワークの応用技術」を修得する。						
授 業 の 概 要						
1)研修目的とシステム全体設計(お客様要件の確認とシステム全体設計) 2)TCP/IP 基本設計とクライアント/サーバ/L3-SW の実装 3)Web/dns/Mail サーバおよびftp/NTP サーバの設計・構築・実装 4)複数ネットワークへの構成変更と各機器パラメータ設計・構築・実装 5)トラブルシューティングによる基盤技術の再確認とプロジェクト全体での進行の重要性 6)まとめ(ネットワーク設計構築の要点とセキュリティ対策)						
成 績 評 価 の 方 法						
出欠席+「実機演習進捗結果(グループ&個人)」および「期末修了試験」で評価。					期末試験	80%
					課 題	20%
使用テキスト・教材						
1)ネットワーク応用研修テキスト(AP5) 2)1 学年使用教材「ネットワーク基礎(AP1～3),情報セキュリティ基礎(AP4)」<持参> 3)参考資料：TCP/IP 最高の指南書(日経 NETWORK)						
授業内容・授業計画						
			時間数			
1.	研修目的と取得内容		2	12.	FTP サーバの設計構築と実装	8
2.	お客様要件の確認とシステム全体設計		4	13.	複数ネットワークへのシステム変更	6
3.	演習にあたっての事前設定変更		4	14.	トラブルシューティング	4
4.	L3SW への接続と初期設定		2	15.	まとめ	4
5.	クライアント/サーバのネットワーク設定		2			
6.	4.5.の論理付け		4			
7.	Web サーバの設計構築と実装		3			
8.	DNS サーバの設計構築と実装		3			
9.	理解度確認テスト (演習 1,2)		4			
10.	メールサーバの設計構築と実装		5			
11.	7.8.9.の論理付け		5			
その他				関連科目		
				ネットワーク基礎		

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2023 年度
時間数は45分換算					科目コード	T-SR65
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
データベース応用			講義・演習		高度ITビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	60	2	横田 一輝	
授 業 の 目 的 ・ 目 標						
・ローカル環境のMySQLを利用し、SQLの実操作を体験する。 ・SQL言語の概念、操作、用語をDB操作から修得する。 ・MySQLを使用しながらDB設計の基本を習得する。						
授 業 の 概 要						
授業では、パソコン上に実際にデータベースを導入して授業の演習に活用する。 リレーショナルモデルを理解し、より効率的にDB設計を行い、適切にSQLを使いこなすために必要な知識を習得する。そのために、座学+演習を繰り返しながら授業を進めていく。						
成 績 評 価 の 方 法						
期末試験、出欠席状況で評価します。					出欠席	40%
					期末試験	60%
使用テキスト・教材						
スッキリわかるSQL入門 第2版 ドリル222問付き!(スッキリシリーズ) インプレス 中山清喬 (著), 飯田理恵子 (著), 株式会社フレアリンク (監修)						
授業内容・授業計画						
			時間数	時間数		
1. イントロダクション			2			
2. データベースとSQL			2			
3. データベース環境セットアップ			4			
4. テーブルからデータを取り出す			4			
5. ソートと演算			8			
6. データの追加・更新・削除			8			
7. 集計とサブクエリ			8			
8. データベースオブジェクトの作成と削除			8			
9. 複数のテーブルを扱う			8			
10. データベース設計			8			
その他				関連科目		
				データベース基礎		

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
				科目コード		T-SR76	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
情報特別講義 I			講義		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	120	8	植松 甫		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
基本情報技術者試験、IT パスポート試験、Java プログラミング能力認定試験等の合格を目指した対策授業である。							
授 業 の 概 要							
対策授業は決して楽な勉強ではない。しかし、資格合格を目指すという強い意志を持って勉強に臨んでほしい。また、本講義はこれまでに学んだすべての科目の総まとめの意味を持っておりそれぞれの科目の知識がしっかり繋がることで、より深く理解できることを期待する。							
成 績 評 価 の 方 法							
出欠席及び合格することなどで評価。					出欠席	90%	
					その他	10%	
使用テキスト・教材							
・基本情報技術者認定試験問題集（インフォテック・サーブ） ・応用情報技術者認定試験問題集（インフォテック・サーブ）							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. 問題練習			時間数 90			時間数	
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-G02	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
コミュニケーション活動Ⅱ			講義・演習		高度 I T ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	30	1	横田 一輝		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
毎日の挨拶や授業、さらに始業式、終業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事などが円滑に遂行できるように割り当てられた授業である。この授業を通し学生間、学生教員間のコミュニケーションを図ることを目的とする。							
授 業 の 概 要							
毎日の挨拶や授業の取り組み方の指導、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事に取り組むための科目である。余剰時間が発生した場合は資格試験対策の授業に割り当てることもある。							
成 績 評 価 の 方 法							
毎日の出席状況や行事の参加状況で判断します。 出席率 90%以上：優 出席率 80%以上：良 出席率 70%以上：可						出席率	90%
						生活態度	10%
使用テキスト・教材							
・必要に応じて補助プリントを配布							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	オリエンテーション		4				
2.	前期成績発表		4				
3.	防災訓練		4				
4.	卒業研究発表会		8				
5.	進級発表		4				
6.	資格試験対策		6				
その他				関連科目			

シラバス（授業概要）				年 度		2023 年度	
				科目コード		T-G06	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
キャリアディベロップメントⅠ			講義・演習		高度ⅠTビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	30	1	植松 甫		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
社会人として必要な一般常識・知識を学ぶ。3年生から積極的な活動ができるように、就活・社会人訓練の一環社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を知る。							
授 業 の 概 要							
就活・社会人訓練の一環として合同合宿をおこない、「就職意識向上」「グループ中の自分の役割・責務」「模擬面接会」などを通じて、スムーズな就活準備をします。							
成 績 評 価 の 方 法							
出席状況や授業態度、演習に対する成果内容で判断します。					出欠席	60%	
					成果内容	40%	
使用テキスト・教材							
・配布プリント類							
授業内容・授業計画							
1. キャリア研修・模擬面接			時間数	時間数			
2. 適正試験対策			24				
			6				
その他				関連科目			
				キャリアディベロップメントⅡ 就活ゼミⅠ、就活ゼミⅡ			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-G12	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
教養ゼミⅢ			講義・演習		高度 I T ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	各担当		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
教養ゼミⅢは各科の専門科目・一般科目に関係なく、各学生の視野を広げるために設けられた授業である。							
授 業 の 概 要							
普段の学科の学習では学習できない 教養科目を複数の決められた講座から選択する。							
成 績 評 価 の 方 法							
出席状況や授業で行う小テストや期末テスト、課題の提出などで決定する。出席率70%以上が必須。						担当毎	
使用テキスト・教材							
・各選択科目により異なる。							
授業内容・授業計画							
1. 各種選択科目の授業内容			時間数 30				時間数
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード	
				T-G13	
授 業 科 目 名		授業形態		学科・コース	
教養ゼミⅣ		講義・演習		高度 I T ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	森 麻里
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
英語の正確な Hearing 力・ものおじしない Speaking 力を高め、その場の環境に応じてスムーズに話せるよう学習する。 TOEIC の Listening を体験し、英語のコミュニケーション能力を高める。					
授 業 の 概 要					
今まで習った単語や表現を使ったセンテンスや会話を聞き取り、自分の力で英語を話す機会を増やし、英語を身近に感じる授業をすすめる。 身近な記事などを速読し、大まかな内容を把握する。					
成 績 評 価 の 方 法					
授業態度（積極や発言）				小テスト	50%
授業内で行う小テスト（3・5 回）				授業評価	50%
提出物					
使用テキスト・教材					
授業で配布のプリント					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			
1. Speaking		10			
2. Listening(Hearing)		10			
3. Phonics		4			
4. Reading&Understanding		6			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
				科目コード		T-SR02	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
パソコン利用技術Ⅱ			講義・演習		高度 I T ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	野田 清文		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
・ 1 年次後期に実施した「課題実習 I」の続きを行い、システム開発を完成させることを目的とする。 ・ 1 年次「顧客管理サブシステム」、2 年次は「注文管理サブシステム」を開発する。 ・ 「アジャイル開発手法」「MVC モデル」「DTO 活用」「DAO の設計」などを学習する。							
授 業 の 概 要							
この授業では、1 年次の後期に実施した「課題実習」の続きを行う。1 年次は「顧客管理サブシステム」を開発しているが、2 年次では「注文管理サブシステム」を開発しシステムを完成させる。また、開発手法として短期間で迅速に開発していく「アジャイル開発手法」を学習する。							
成 績 評 価 の 方 法							
課題内容、出欠席状況で評価。					課題	50%	
					出席	50%	
使用テキスト・教材							
配布資料。							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1. アジャイル開発手法とは			1	*実施されるスプリント予定は、「検索」「登録」「削除」「更新」の 4 回である。			
2. MVC モデル、DTO、DAO 活用法			1				
3. Swing 復習			1				
4. WorkBench+MySQL+SQL 復習			1				
5. 「注文管理サブシステム」要件定義			2				
6. 外部設計 (画面設計)			2				
7. 外部設計 (概念クラス、論理設計)			3				
8. 外部設計 (コミュニケーション図)			3				
9. 内部設計 (物理設計、シーケンス図)			3				
10. 内部設計 (詳細クラス図)			3				
11. 開発			6				
12. テスト (単体テスト、結合テスト)			2				
13. 総合テスト			1				
14. ドキュメントまとめ			1				
その他				関連科目			
XP を取り入れ、教員と学生のペアプログラミングで効率的に開発を進めていく。				プログラミング言語、課題実習 I			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード		T-SR05	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
Office システム開発			講義・演習		高度 I T ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	吉田 文昭		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
・ Excel VBA・マクロ等を使用したシステム開発演習。 ・ Office シリーズに共通な関数や VBA を用い、データ分析など業務効率化を図るのに有益なデータ処理方法やデータ分析手法を学ぶ。							
授 業 の 概 要							
1 年次に学習した「表計算基礎」「表計算応用」を元に、演習主体の授業を行い簡単な業務改善を Excel で実現できるスキルを身につける。 Excel は強力な開発言語 VBA を実装しており、それを使用したシステムを実現でき、授業では、与えられた課題をデータ分析など問題解決に役立つシステムの開発を行っていく。							
成 績 評 価 の 方 法							
課題制作の成績、出欠席状況で評価。						その他	20%
						課題評価	80%
使用テキスト・教材							
「小さな会社の Excel VBA 業務自動化アプリケーション作成・運用ガイド」 武藤 玄 (著), 早坂 清志 (著), 植木 悠二 (著)、プリント配布							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. 業務開発事例の説明			2				
2. Excel VBA について (開発ポイント)			2				
3. Excel VBA について (基礎知識)			2				
4. 現金出納帳			2				
5. 売掛金管理システム			2				
6. グラフ表示			2				
7. Web データの活用			2				
8. AccessDB の利用			2				
9. VBA の応用			2				
10. VBA の応用			2				
11. 課題制作			2				
12. 課題制作			2				
13. 課題制作			2				
14. 課題制作			2				
15. 課題制作			2				
その他				関連科目			
※プログラミング技術を学ぶのでアルゴリズムの知識が必要となる。				表計算基礎、表計算応用			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード		T-SR21	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
HTML 応用			講義・演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	深澤 裕明		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
教員が提示するサンプルをもとに、レスポンス対応の Web ページの構築ができるようになることを目標とする。							
授 業 の 概 要							
スマートフォンが普及する中で、デバイスに応じたレイアウトの最適化は習得が必須となる。この授業では、メディアクエリを使用したレスポンスの導入を行い、教員が準備したサンプルサイトの制作を行う。そのためには、1年次に学習した HTML 基礎の知識が必要となる。							
成 績 評 価 の 方 法							
筆記試験（または Web 試験）の成績、出欠席状況で評価する。						出 欠 席	20%
						期末試験	80%
使用テキスト・教材							
・できるポケット Web 制作必携 HTML&CSS 全事典 改訂版 HTML Living Standard & CSS3/4 対応（株式会社インプレス） ・その他、担当教員が準備した資料を使用する。							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション			2				
2. レスポンスの基礎知識			4				
3. トップページ制作			12				
4. レスポンス設定 メディアクエリ など			12				
その他				関連科目			
				・ HTML 基礎 ・ HTML 総合演習			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-SR22	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
HTML 総合演習			講義・演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	30	1	深澤 裕明		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
教員が提示するサンプルをもとに、レスポンス対応の Web サイトの構築ができるようになることを目標とする。							
授 業 の 概 要							
スマートフォンが普及する中で、デバイスに応じたレイアウトの最適化は習得が必須となる。 この授業では、HTML 応用で制作したトップページ以外の全ページを、レスポンスに対応した形で構築し、1つのサイトとして完成するまでを行う。							
成 績 評 価 の 方 法							
筆記試験（または Web 試験）の成績、出欠席状況で評価する。						出 欠 席	20%
						期末試験	80%
使用テキスト・教材							
・できるポケット Web 制作必携 HTML&CSS 全事典 改訂版 HTML Living Standard & CSS3/4 対応（株式会社インプレス） ・その他、担当教員が準備した資料を使用する。							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション			2				
2. ディレクトリ構造の理解			2				
3. 制作環境構築			2				
4. 下層ページ制作			14				
リンクの設定、table、form など							
5. レスポンス設定			10				
メディアクエリ など							
その他				関連科目			
				・ HTML 基礎 ・ HTML 応用			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				T-SR27	
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス
ネットワーク応用			講義・演習		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	小山 幸三郎
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
「ネットワーク基礎(1 学年)」技術をベースに、実機によるシステム構築と事例解説によりお客様の 実現場で要求される「ネットワークの応用技術」を修得する。					
授 業 の 概 要					
1)研修目的とシステム全体設計(お客様要件の確認とシステム全体設計) 2)TCP/IP 基本設計とクライアント/サーバ/L3-SW の実装 3)Web/dns/Mail サーバおよびftp/NTP サーバの設計・構築・実装 4)複数ネットワークへの構成変更と各機器パラメータ設計・構築・実装 5)トラブルシューティングによる基盤技術の再確認とプロジェクト全体での進行の重要性 6)まとめ(ネットワーク設計構築の要点とセキュリティ対策)					
成 績 評 価 の 方 法					
出欠席+「実機演習進捗結果(グループ&個人)」および「期末修了試験」で評価。					期末試験 80% 課 題 20%
使用テキスト・教材					
1)ネットワーク応用研修テキスト(AP5) 2)1 学年使用教材「ネットワーク基礎(AP1～3),情報セキュリティ基礎(AP4)」<持参> 3)参考資料 : TCP/IP 最高の指南書(日経 NETWORK)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.	研修目的と取得内容	2	12.	FTP サーバの設計構築と実装	8
2.	お客様要件の確認とシステム全体設計	4	13.	複数ネットワークへのシステム変更	6
3.	演習にあたっての事前設定変更	4	14.	トラブルシューティング	4
4.	L3SW への接続と初期設定	2	15.	まとめ	4
5.	クライアント/サーバのネットワーク設定	2			
6.	4.5.の論理付け	4			
7.	Web サーバの設計構築と実装	3			
8.	DNS サーバの設計構築と実装	3			
9.	理解度確認テスト (演習 1,2)	4			
10.	メールサーバの設計構築と実装	5			
11.	7.8.9.の論理付け	5			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			ネットワーク基礎		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				T-SR28	
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス
ネットワーク構築演習			演習		高度 I T ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	2	遠藤 有貴
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
・ ネットワーク応用で学んだ内容を活かし、情報通信機器、サーバなどを用い、小規模 LAN のデザイン、設計、構築方法について学習する。構築した小規模 LAN を活用し、運用のポイントについて学習する。本格的な仕事の進め方についても当演習で修得する。					
授 業 の 概 要					
授業は配布プリント中心におこなう。 情報通信機器実機に触れ学習を進めるため、積極的に参加すること。 放課後機器を利用して学習をするなど、日頃の授業の復習を行うことが望ましい。					
成 績 評 価 の 方 法					
成果物および期末試験などで評価。				成果物	30%
				期末試験	60%
				その他	10%
使用テキスト・教材					
サーバー しくみと技術がしっかりわかる本 配布プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. LAN 構築 (事前検討)	2	16. Cisco 機器演習	2		
2. LAN 構築 (物理設計)	2	17. Cisco 機器演習	2		
3. LAN 構築 (論理設計)	2	18. Cisco 機器演習	2		
4. LAN 構築 (論理設計)	2	19. Cisco 機器演習	2		
5. 応用情報技術者過去問題 (設計)	2	20. Cisco 機器演習	2		
6. 応用情報技術者過去問題 (設計)	2	21. Cisco 機器演習	2		
7. ネットワーク設計演習	2	22. Cisco 機器演習	2		
8. ネットワーク設計演習	2	23. Cisco 機器演習	2		
9. ネットワーク設計演習	2	24. Cisco 機器演習	2		
10. Windows ネットワークコマンド	2	25. Cisco 機器演習	2		
11. Windows ネットワークコマンド	2	26. Cisco 機器演習	2		
12. Cisco 機器概要	2	27. Linux 基本操作演習	2		
13. Cisco 機器演習	2	28. Linux 基本操作演習	2		
14. Cisco 機器演習	2	29. 期末課題	2		
15. Cisco 機器演習	2	30. 期末課題	2		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			ネットワーク基礎、ネットワーク応用		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
				科目コード		T-SR30	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
プログラム言語Ⅲ			講義・演習		高度 I T ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	60	2	内田 正章		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
・C#言語を用い、ウィンドウズプログラミングの基礎的事項を学習する。 ・C#を使い、ウィンドウズ GUI アプリケーションが作れることを目標とする。 ・アプリケーションの作成を通して、オブジェクト指向の基本的事項について再確認する。							
授 業 の 概 要							
授業では、パソコン上で実際にプログラムを作成することを重視します。各回の授業のテーマに沿ってプログラムを作成し、作成状況／動作結果を教員に提示してもらいます。プログラミングの習得の早道は「習うより慣れろ」という気持ちが大事です。とにかくプログラムを入力し、動作確認しながらプログラミングを覚えましょう。							
成 績 評 価 の 方 法							
課題の作成状況、発表内容で評価します。出欠席状況、受講態度も評価に加味します。					出欠席	40%	
					課題内容	60%	
使用テキスト・教材							
「ゴールからはじめるC#」 菅原 朋子(著)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. Visual Studio の セットアップ			2	16. テキスト読み上げアプリの作成			2
2. ビジュアルプログラミングの第1歩			2	17. 子ウィンドウ			2
3. Visual C#の基本事項			2	18. コントロールの動的生成			2
4. 簡単なアプリ作成 (挨拶)			2	19. 継承			2
5. データ型、キャスト			2	20. 継承を利用するアプリの作成			4
6. 簡単なアプリ作成 (税込金額)			2	21. アクセサリ／プロパティ			2
7. 数値チェック			2	22. マウスイベント、ファイル入出力			2
8. 簡単なアプリ作成 (色の作成)			2	23. 付箋アプリの作成			2
9. タイマーコンポーネント、サウンド			2	24. 課題制作			10
10. タイマーアプリの作成			2	25. 制作課題の発表			2
11. Visual C#プログラムの構造			2				
12. 乱数生成アプリの作成			2				
13. 配列、コントロールの配列			2				
14. スロットゲームアプリの作成			2				
15. オブジェクト指向、クラス			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
				科目コード		T-SR31	
時間数は45分換算							
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
プログラム言語Ⅳ			講義・演習		高度ITビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	60	2	内田 正章		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
・C#言語を用いウィンドウズプログラミングの応用的な事項を学習する。 ・C#を使いDBにアクセスするアプリケーションプログラムが開発できることを目標とする。プログラム言語Ⅲで学習したC#の知識を応用して、データベースを活用するアプリケーションへの機能アップを目指す。							
授 業 の 概 要							
プログラム言語Ⅳでは、システム設計書に基づき、実際にアプリケーションプログラムを作成します。授業では、C#言語を用いてデータベースのデータの登録／照会／更新を行うプログラムの開発方法を学習します。データベース（特に、SQL）の知識が必要とされますのでわからないことがあれば、適宜1年次に学習したことを復習することが重要です。							
成 績 評 価 の 方 法							
課題の作成状況、提出状況で評価します。出欠席状況、受講態度も評価に加味します。					出欠席	40%	
					課題内容	60%	
使用テキスト・教材							
プリント資料（その都度、学生サーバに提示）							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. C# DB プログラミング基礎			2				
2. データベース(SQL Server DB)の作成			2				
3. SQL の復習			4				
4. Visual C# での DB アクセス			4				
5. データの DataGridView での表示			8				
6. 開発演習－ユースケース図、クラス図			2				
7. 開発演習－DB／テーブル定義			2				
8. 開発演習－登録／照会／更新			12				
9. 開発演習－画面遷移			4				
10. 開発演習－アプリロジック			12				
11. まとめ			4				
12. 課題提出			4				
その他				関連科目			
※DB、SQL、C#、ビジュアルプログラミングの知識が必要とされるので、適宜関連科目の復習が重要。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。				プログラム言語Ⅲ			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード		T-SR32	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
データベース応用			講義・演習		高度ITビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	60	2	横田 一輝		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
・ローカル環境のMySQLを利用し、SQLの実操作を体験する。 ・SQL言語の概念、操作、用語をDB操作から修得する。 ・MySQLを使用しながらDB設計の基本を習得する。							
授 業 の 概 要							
授業では、パソコン上に実際にデータベースを導入して授業の演習に活用する。 リレーショナルモデルを理解し、より効率的にDB設計を行い、適切にSQLを使いこなすために必要な知識を習得する。そのために、座学+演習を繰り返しながら授業を進めていく。							
成 績 評 価 の 方 法							
期末試験、出欠席状況で評価します。						出欠席	40%
						期末試験	60%
使用テキスト・教材							
スッキリわかるSQL入門 第2版 ドリル222問付き!(スッキリシリーズ) インプレス 中山清喬 (著), 飯田理恵子 (著), 株式会社フレアリンク (監修)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. イントロダクション			2				
2. データベースとSQL			2				
3. データベース環境セットアップ			4				
4. テーブルからデータを取り出す			4				
5. ソートと演算			8				
6. データの追加・更新・削除			8				
7. 集計とサブクエリ			8				
8. データベースオブジェクトの作成と削除			8				
9. 複数のテーブルを扱う			8				
10. データベース設計			8				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。				データベース基礎			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
				科目コード		T-SR36	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
制御プログラム基礎			講義・演習		高度 I T ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	60	2	和田 弘		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
マイコン利用による制御プログラムについて理論・実習・グループ演習を通して学ぶ。 目標として自分で開発企画、プログラム作成、結果発表をできることを目標とする。							
授 業 の 概 要							
電子回路の基礎知識を学び、ハード回路の接続もできるようにする。 そのハードウェアを制御するプログラムを構築する。 プログラムの大きさにかかわらず、自分の考えを構築できることがポイントになる。							
成 績 評 価 の 方 法							
原則、授業態度、課題提出、演習結果提出、等を総合評価した上で決定する。					課 題	100%	
使用テキスト・教材							
ラズベリー・パイで遊ぼう (ラトルズ)、エントリーキット等 P C (各自持参要) にて下記HPを中心に授業を進め、課題提出等にも使用する。 [授業用 Web HP] http://www13.plala.or.jp/NTCSMSI/xdnj.html 、 T e a m s							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 授業内容・目標確認・教材確認			2	16. 音を出す_Ch6-7			2
2. 電子工作／部品／回路の基礎>1.1			2	17. 「PWM&ブザー」_Ch6-7			2
3. ラズベリー・パイで遊ぼう_Ch1			2	18. 1・Wire (温度測定)_Ch6-8			2
4. ラズベリー・パイを導入しよう_Ch2			2	19. I 2 C (気圧測定)_Ch6-9			2
5. ラズベリー・パイの導入・環境設定_Ch2			2	20. I 2 C (LCD)_Ch6-10			2
6. ラズベリー・パイを使ってみよう_Ch3			2	21. 机上説明_Ch6-11/12			2
7. マルチメディアを楽しもう_Ch4			2	22. スマホでG P I O制御-1_Ch7			2
8. 周辺機器を接続しよう_Ch5			2	23. スマホでG P I O制御-2_Ch7			2
9. 電子回路入門			2	24. javascript 制御_Ch7-2/3/4			2
10. 電子工作全般_Ch6-1/6-2			2	25. 机上 (リアル tweet)_Ch8-1			2
11. LEDの点灯を制御しよう_Ch6-3			2	26. シャットダウンボタン_Ch8-2			2
12. LEDを点灯させてみよう_Ch6-3+5			2	27. 人感センサー_Ch8-3			2
13. SW&LED_Ch6-4+5			2	28. 予備日ー1			2
14. PWMでLED制御_Ch6-6			2	29. 予備日ー2			2
15. 「PWM&LED」_Ch6-6			2	30. 基礎編のまとめ、応用編の準備			2
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				T-SR42	
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス
課題制作演習Ⅱ			演習		高度ITビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	90	3	遠藤 有貴 小山 幸三郎
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
個々のネットワーク機器やサーバ機器に対する機能理解や、基本操作・設定スキルに加え、各種ドキュメントに対する理解力を演習を通じて身に着ける。					
授 業 の 概 要					
ユーザからLAN構築依頼を受けたことを前提に、実際にサーバ設計・構築からネットワーク設計・構築の順にケーススタディ形式で作業を実施していき、小規模LANを実際に構築していく。					
成 績 評 価 の 方 法					
出欠席および提出課題などで評価。					出欠席 40% 課題 60%
使用テキスト・教材					
「インフラシステム構築演習」インフォテックサーバ 配布されたプリント					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション、各種ドキュメント説明		2	23. コンフィグの作成		2
2. 顧客要件の確認		2	24. コンフィグの作成		2
3-4. 要件定義書		2	25. ネットワーク詳細設計書の理解と作成		2
5-6. 基本設計書の理解と作成		2	26. ネットワーク詳細設計書の理解と作成		2
7-10. サーバ詳細設計書の作成		2	27. ネットワーク詳細設計書の理解と作成		2
11. 検証用サーバの構築		2	28. ネットワーク構築		2
12. 検証用サーバの構築		2	29. ネットワーク構築		2
13-15. サーバ構築手順書の作成		2	30. ネットワーク構築		2
16. 本番用サーバの構築		2	31. ネットワーク構築		2
17. 本番用サーバの構築		2	32. ネットワーク構築		2
18. 本番用サーバの構築		2	33. ネットワーク構築		2
19. サーバ単体テスト		2	34-36. ネットワーク障害テストの実施		6
20. サーバ単体テスト		2	37-39. システム結合テストの実施		6
21. サーバ結合テストの実施		2	40-42. 障害報告書の作成、トラブルの修正		6
22. ネットワーク基本設計書の理解と作成		2	43-45. 成果発表		6
その他			関連科目		
※積極的な演習参加が望ましい。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			ネットワーク基礎、ネットワーク応用、 ネットワーク構築演習		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード		T-SR46	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
情報特別講義Ⅱ			講義		高度ITビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	120	8	各担当		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
各種情報処理技術者試験や、Java プログラミング能力認定試験等の資格試験の合格を目指した対策授業です。							
授 業 の 概 要							
この授業はすべてに科目の総まとめの意味を持っています。ここでしっかり学習することで、ばらばらだった科目がしっかりとつながり、さらなる理解につながります。受講後、目標資格を取得することでさらなる自信が生まれ、自分が成長していることを実感できる授業となっています。							
成 績 評 価 の 方 法							
出欠席で評価。						出欠席	100%
使用テキスト・教材							
各種情報技術者認定試験 問題集							
授業内容・授業計画							
1-60. 各分野の対策授業			時間数 120	時間数			
その他				関連科目			
※絶対合格するという強い意志を持って勉強に臨んでください。				情報処理特別講義Ⅰ			

シラバス（授 業 概 要） 時間数は4 5分換算				年 度	2023 年度
				科目コード	T-SR47
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
情報特別講義Ⅲ			講義		高度 I T ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	120	8	各担当
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
各種情報処理技術者試験や、Java プログラミング能力認定試験等の資格試験の合格を目指した対策授業です。					
授 業 の 概 要					
この授業はすべてに科目の総まとめの意味を持っています。ここでしっかり学習することで、ばらばらだった科目がしっかりとつながり、さらなる理解につながります。受講後、目標資格を取得することでさらなる自信が生まれ、自分が成長していることを実感できる授業となっています。					
成 績 評 価 の 方 法					
出欠席で評価。					出欠席 100%
使用テキスト・教材					
各種情報技術者認定試験 問題集					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1-60. 各分野の対策授業			時間数 120		時間数
その他			関連科目		
※絶対合格するという強い意志を持って勉強に臨んでください。			情報処理特別講義Ⅰ、情報処理特別講義Ⅱ		

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-G03	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
コミュニケーション活動Ⅲ			講義・演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	30	1	横田 一輝		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などに参加するための科目である。							
授 業 の 概 要							
始業式、終業式、、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事などに参加するための科目である。							
成 績 評 価 の 方 法							
出席点で評価。						出席点	100%
使用テキスト・教材							
特になし。							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション			4				
2. 前期成績発表			4				
3. 防災訓練			4				
4. 卒業研究発表会			8				
5. 進級発表			4				
6. 資格試験対策			6				
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-G07	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
キャリアディベロップメントⅡ			講義・演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	前期	必修	30	1	植松 甫		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
2 年生後期に実施されるキャリアディベロップメントⅠの振返りを集中講座という形で実施、社会人としての基本的なスキルを学ぶ。							
授 業 の 概 要							
社会人として求められる基礎的なスキルを訓練する。 企業の一員として働く体験をする。							
成 績 評 価 の 方 法							
出欠席や積極性などで評価。						出欠席	80%
						その他	20%
使用テキスト・教材							
講師作成テキスト							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 業界研究			2				
2. ビジネスマナー復習			2				
3. 志望動機の作り方			2				
4. コミュニケーションスキル向上訓練			4				
5. エントリーシート作成			4				
6. コミュニケーションスキル向上訓練②			4				
7. 個別面接訓練			4				
8. 集団討論演習①			4				
9. 集団討論演習②			4				
その他				関連科目			
				キャリアディベロップメントⅠ			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-G08	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
就職活動ゼミ I			講義・演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	30	1	植松 甫		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身に着ける。							
授 業 の 概 要							
自己表現をすることと、希望の会社・団体について学ぶことをバランスよく行う。							
成 績 評 価 の 方 法							
出席点や積極性で評価。						出席点	80%
						その他	20%
使用テキスト・教材							
特になし。							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
働くということ・社会人としての自覚			2				
自己分析・自分の魅力探し			2				
就職活動の流れ			2				
Web サイトでの情報収集			2				
業界研究・企業研究			2				
求人票の見方、給与・保険制度			2				
職種研究			2				
筆記試験対策			2				
会社説明会			2				
電話、面接での問い合わせ			2				
履歴書の書き方			2				
面接指導			8				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				T-SR23	
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
Web アプリケーション基礎			講義・演習	高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	横田 一輝 杉谷 奨太
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
・ Java 言語を用い、サーバサイドプログラミングの基礎的事項を学習する。 ・ サーバサイドアプリケーションが作れることを目標とする。					
授 業 の 概 要					
授業では、パソコン上で実際にプログラムを作成することを重視する。 1 年次に学習した Java 言語を使用したサーバー側で動作するプログラムの開発の仕方を学習する。 Java 言語の基礎知識を前提に授業を進めていくので予め、復習しておくことが望ましい。ネットワークやセキュリティの知識も必要となる 3 年生の核となる授業である。					
成 績 評 価 の 方 法					
課題の提出状況、発表内容、出欠席状況で評価する。					課 題 80% 学習態度 20%
使用テキスト・教材					
「スッキリわかるサーバレット&JSP入門」 国本大吾 (著)					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		
第1章 HTML と Web ページ	2	メイン画面の作成	2		
第2章 Web の仕組み	2	ログアウト機能の作成	2		
開発環境整備 サンプル実行	2	投稿・閲覧機能の作成	2		
第3章サーバレットの基礎	2	エラーメッセージ表示機能作成	2		
第4章 JSP の基本	2	第11章サーバレット実行とフィルタ	2		
第5章フォーム	2	リスナーの登録	2		
フォームを使ったプログラムの作成	2	第12章アクションタグとEL	2		
第6章 MVC モデルと処理の遷移	2	インクルードとEL式	2		
フォワード、リダイレクトプログラム	2	JSTL の使用	2		
第7章リクエストスコープ	2	第13章 JDBC プログラムと DAO	2		
サンプルの実行	2	JDBC プログラム	2		
第8章セッションスコープ	2	DAO パターンプログラム	2		
第9章アプリケーションスコープ	2	DB を使ったサンプルアプリ	2		
第10章アプリケーション作成	2	第14章設計手法の理解	2		
ログイン機能の作成	2	試験対策	2		
その他		関連科目			
※单元ごとと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-SR24	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
Web アプリケーション応用			講義・演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	60	2	杉谷 奨太		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
・企業の実践的教材を用い、システム設計書から実際に Web アプリケーションの開発を行う。 ・今まで学習した UML で設計された教材を使用し実際に開発ができることを目標とする。 ・チームによる開発によって、スケジュール管理やソース管理の方法を学ぶ。							
授 業 の 概 要							
「企業課題Ⅰ」につながるような演習中心の授業を行う。UML で記述された要件定義から外部、内部設計・プログラム設計部分を把握し実際に開発を進めていく。Java 言語の基礎、HTML5、JavaScript さらに前期で学習した「Web アプリケーション基礎」の知識が必要である。							
成 績 評 価 の 方 法							
課題提出をもって、試験に代える。						出 席	20%
						課 題	80%
使用テキスト・教材							
企業様作成の教材							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 教材内容説明 オリエンテーション			2				
2. 要件定義、外部設計の内容理解			6				
3. 内部設計の内容理解			6				
4. 開発			20				
5. レビュー			4				
6. ブラッシュアップ(機能追加)			8				
7. テスト			8				
8. まとめ			2				
9. 発表			4				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				T-SR29	
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス
情報セキュリティ演習			講義・演習		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	遠藤 有貴 植松 甫
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
・ 情報セキュリティ対策に必要な理論を学び、実践的な演習を行う。 ・ 脆弱性体験型の学習ツールを利用し、実際の攻撃やセキュリティ対策について学ぶ。					
授 業 の 概 要					
Web アプリケーション、サーバ・デスクトップアプリケーション、ネットワーク、サーバの脆弱性について、学習する。最終的には、システム全体のセキュリティを担保できるスキルを習得する。					
成 績 評 価 の 方 法					
課題の提出状況、出欠席状況等の授業内態度で評価する。				期末試験	60%
				課 題	40%
使用テキスト・教材					
セキュリティ最強の指南書 (日経 NETWORK)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
復習		2	Python を利用したセキュリティプログ		4
クロスサイトスクリプティング		4	ラミング		
ディレクトリトラバース		4	クロスサイトリクエストフォージェリ		4
SQL インジェクション		6	期末課題		6
セッション管理の不備		4			
サイバー防災訓練		6			
インシデント対応①事前知識の確認		2			
インシデント対応②検知・受付		2			
インシデント対応③トリアージ		4			
インシデント対応④証拠保全		1			
インシデント対応⑤封じ込め・根絶①		1			
インシデント対応⑥封じ込め・根絶②		4			
インシデント対応⑦復旧措置・再発防止		2			
インシデント対応⑧報告・公表		2			
インシデント対応⑨事後対応		2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2023 年度
時間数は45分換算				T-SR33	
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
ネットワーク OS 基礎			講義・演習	高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	遠藤 有貴 宮木 孝
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
・Linux のインストール、仮想マシン・コンテナの利用、ファイル・ディレクトリの操作管理など LinuC101 試験の内容を学び、合格を目指す。					
授 業 の 概 要					
Linux は、サーバ用途から、家電製品、情報機器の組み込み用途など多くの環境で利用されている。授業では、実際に Linux サーバを利用し、LinuC101 の内容を学ぶ。LinuC101 受験は夏休み明けを予定している。授業以外にも自己学習をする必要がある。(主に夏休み)					
成 績 評 価 の 方 法					
LinuC101 の受験結果で評価する。(9 月実施予定) 日頃の課題の提出状況、出欠席状況等の授業内態度を加味する場合もある。				試 験	100 %
使用テキスト・教材					
・「最短突破 LinuC レベル1 バージョン 10.0 合格教本」河原木忠司 (著)					
授業内容・授業計画					
Linux の基本・インストール・起動・接続	時間数	2	基本的なファイル編集の実行	時間数	2
LPI-Japan 理事長講演	2		LinuC101 3 章練習問題	2	
仮想マシン・コンテナの概念と利用	4		Apt コマンドによるパッケージ管理	2	
ブートプロセスと systemd	2		Debian パッケージ管理	2	
プロセスの生成・監視・終了	2		yum コマンドによるパッケージ管理	2	
デスクトップ環境の利用	4		RPM パッケージ管理	2	
LinuC101 1 章練習問題	2		LinuC101 4 章練習問題	2	
基本的なファイル管理の実行	2		ハードウェアの基本知識と設定	2	
ファイルの所有者とパーミッション	4		HDD/SSD のレイアウト	2	
ファイルの配置と検索	2		ファイルシステムの作成・管理	2	
LinuC101 2 章練習問題	2		Linu101 5 章練習問題	2	
コマンドラインの操作	2		模擬試験	2	
フィルタを使ったテキストストリーム処理	2				
ストリーム、パイプ、リダイレクトの利用	2				
正規表現を利用したテキストファイル検索	2				
その他	関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2023 年度
時間数は45分換算					科目コード	T-SR35
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
サーバ構築演習			講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	後期	必修	60	2	宮木 孝	
授 業 の 目 的 ・ 目 標						
・ CentOS を利用し、SSH サーバ、DNS サーバ、Web サーバ等を構築する。 ・ 構築したサーバのセキュリティ対策について、学ぶ。						
授 業 の 概 要						
授業では、サーバを実際に構築し、その環境を活用し学習を進める。定期的に課題を課すので、納期までの提出が義務付けられる。即戦力の習得には、「習うより慣れる」という気持ちが大事。とにかく環境に触れ、技術の習得するよう心掛けること。						
成 績 評 価 の 方 法						
課題の提出状況、発表内容、出欠席状況で評価する。					期末試験	60%
					課 題	40%
使用テキスト・教材						
「CentOS8 で作るネットワークサーバ構築ガイド」サーバ構築研究会（著）						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
復習			2	期末課題	6	
実習環境の構築			4			
パッケージのメンテナンス			4			
SSH サーバ			4			
パケットフィルタ (firewalld)			4			
DNS サーバ (BIND)			8			
WWW サーバ (Apache)			8			
WWW サーバ (Nginx)			6			
FTP サーバ (vsftp)			4			
DB サーバ (Mariadb、Redis)			2			
SMTP サーバ (Postfix、Saslauthd)			4			
POP サーバ (Dovecot)			4			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2023 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				T-SR37	
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス
制御プログラム応用			講義・演習		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	60	2	和田 弘
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
マイコン利用による制御プログラムについて理論・実習・グループ演習を通して学ぶ。 「ラジコンカー制御」を通して、開発企画、プログラム作成、結果発表をできることを目標とする。					
授 業 の 概 要					
基礎編の総復習を行い、全員のスキルレベルあわせを行う。 ラジコンカーの制御プログラムにより「動作制御」の基本を学ぶ。 グループ演習により「企画力」「チームワーク力」を養う。					
成 績 評 価 の 方 法					
原則、授業態度、課題提出、演習結果提出、グループ作業、等を総合評価した上で決定する。					課 題 100%
使用テキスト・教材					
ラズベリー・パイで遊ぼう (ラトルズ)、エントリーキット、ラジコンカー等 P C (各自持参要) にて下記HPを中心に授業を進め、課題提出等にも使用する。 [授業用 Web HP] http://www13.plala.or.jp/NTCSMSI/xdnj.html 、Teams					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 授業内容・目標確認・教材確認・基礎の復習		2	16. 仕様書作成ー3		2
2. 基礎の復習 (G P I O) _Ch7		2	17. 設計書作成ー1		2
3. 基礎の復習 (PWM) _Ch6-6		2	18. 設計書作成ー2		2
4. 基礎の復習 (1-W i r e) _Ch6-8		2	19. 設計書作成ー3		2
5. 基礎の復習 (I 2 C) _Ch6-9		2	20. プログラミングー1		2
6. 予備日		2	21. プログラミングー2		2
7. ドキュメントの書き方		2	22. プログラミングー3		2
8. 演習制御プログラムー1		2	23. テスト・修正ー1		2
9. 演習制御プログラムー2		2	24. テスト・修正ー2		2
10. 演習制御プログラムー3		2	25. テスト・修正ー3		2
11. 演習制御プログラムー4		2	26. 報告資料作成ー1		2
12. 演習制御プログラムー5		2	27. 報告資料作成ー2		2
13. グループ分け・課題説明		2	28. 報告資料作成ー3		2
14. 仕様書作成ー1		2	29. 発表会ー1		2
15. 仕様書作成ー2		2	30. 発表会ー2		2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2023 年度
時間数は45分換算					科目コード	T-SR38
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース		
モバイルプログラム基礎			講義・演習	高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	60	2	横田 一輝	
授 業 の 目 的 ・ 目 標						
・ Android Studio を使い、スマホプログラミングの基礎的事項を学習する。 ・ Kotlin 言語を使い、スマホアプリケーションが作れることを目標とする。						
授 業 の 概 要						
授業では、パソコン上でスマホアプリのプログラムを作成しエミュレータを介して実行する。最後に課題を課すので、納期までに提出が義務付けられる。 プログラミングの習得の早道は「習うより慣れろ」という気持ちが大変である。 とにかくプログラムを入力し、動作確認しながらプログラミングを覚えよう。						
成 績 評 価 の 方 法						
課題の提出状況、発表内容、出欠席状況で評価する。					課 題	80%
					学習態度	20%
使用テキスト・教材						
はじめての Android プログラミング 第5版						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
Android Studio の基本操作			2	課題演習		8
ビューとアクティビティ			2			
イベントとリスナ			4			
リストビューとダイアログ			2			
レイアウト			2			
画面遷移と Intent クラス			4			
Kotlin を使う			4			
じゃんけんアプリを作成する			8			
画像表示アプリを作成する			8			
カウントダウンタイマーを作成する			4			
スケジューラアプリを作成する			10			
JSON データを利用する			2			
その他				関連科目		
※単元ごと演習を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度
				科目コード		T-SR39
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス	
モバイルプログラム応用			講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	後期	必修	60	2	横田 一輝	
授 業 の 目 的 ・ 目 標						
・「モバイルプログラム基礎」の継続授業であるが、開発ツールを限定せずに、アンドロイドアプリ＋αの授業とする。						
・WebAPI、センサー、オープンデータ等を利用したアプリが作れることを目標とする。						
授 業 の 概 要						
授業では、スマホ、タブレット等実装されている機能の利用以外に、Web 上で提供される API やオープンデータを利用するアプリの作成を重視する。定期的に課題を課すので、納期までに提出が義務付けられる。プログラミングの習得の早道は「習うより慣れろ」という気持ちが大事。とにかくプログラムを入力し、動作確認しながらプログラミングを覚えよう。						
成 績 評 価 の 方 法						
課題の提出状況、発表内容、出欠席状況で評価する。					課 題	80%
					学習態度	20%
使用テキスト・教材						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
Android Studio 開発振り返り			3			
通信系アプリ開発			6			
JSON データの活用			6			
Android Studio 以外の開発環境演習			6			
API 活用			9			
課題テーマ策定&課題演習			30			
その他				関連科目		
※単元ごと演習を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度
				科目コード		T-SR43
時間数は45分換算						
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
企業課題Ⅰ			講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	後期	必修	120	4	杉谷 奨太、佐藤 和也 横田 一輝	
授 業 の 目 的 ・ 目 標						
・企業様より課題を頂き、プロジェクト単位に依頼された課題を納品する。 ・システム開発を要件定義から納品までを一通り経験することを目標とする。						
授 業 の 概 要						
「Web アプリケーション応用」の演習を参考に課題に取り組んでください。また、今まで学習した知識を活用し、与えられた課題に対しプロジェクトを編成し、実際にシステム開発を行います。現場に赴きアンケートを実施したり、ユーザとレビューを実施したり定期的に指導教員に進捗状況の報告などを行ってください。						
成 績 評 価 の 方 法						
課題の取組み状況、成果物の完成度、発表内容、出欠席状況で評価する。					学習態度	10%
					課 題	90%
使用テキスト・教材						
各々、政策に必要なテキスト						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数	時間数		
1.	オリエンテーション		2			
2.	要件定義		8			
3.	外部設計		8			
4.	レビュー		4			
5.	内部設計		8			
6.	中間発表・レビ		8			
7.	プログラム設計		12			
8.	レビュー		4			
9.	開発		36			
10.	テスト		16			
11.	レビュー		4			
12.	デプロイ 移行		2			
13.	まとめ		4			
14.	発表		4			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度
				科目コード		T-SR48
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
情報特別講義Ⅳ			講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	120	8	横田 一輝	
授 業 の 目 的 ・ 目 標						
基本情報技術者試験、IT パスポート試験、Java プログラミング能力認定試験等の合格を目指した対策授業である。						
授 業 の 概 要						
対策授業は決して楽な勉強ではない。しかし、資格合格を目指すという強い意志を持って勉強に臨んでほしい。また、本講義はこれまでに学んだすべての科目の総まとめの意味を持っておりそれぞれの科目の知識がしっかり繋がることで、より深く理解できることを期待する。						
成 績 評 価 の 方 法						
出欠席及び合格することなどで評価。					出欠席	90%
					その他	10%
使用テキスト・教材						
・基本情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ)						
・応用情報技術者認定試験問題集 (インフォテック・サーブ)						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
1. 問題練習			時間数 120	時間数		
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。						

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-SR49	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
情報特別講義Ⅴ			講義・演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	120	8	横田 一輝		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
基本情報技術者試験、IT パスポート試験、Java プログラミング能力認定試験等の合格を目指した対策授業である。							
授 業 の 概 要							
対策授業は決して楽な勉強ではない。しかし、資格合格を目指すという強い意志を持って勉強に臨んでほしい。また、本講義はこれまでに学んだすべての科目の総まとめの意味を持っておりそれぞれの科目の知識がしっかり繋がることで、より深く理解できることを期待する。							
成 績 評 価 の 方 法							
出欠席及び合格することなどで評価。						出欠席	90%
						その他	10%
使用テキスト・教材							
・基本情報技術者認定試験問題集（インフォテック・サーブ） ・応用情報技術者認定試験問題集（インフォテック・サーブ）							
授業内容・授業計画							
1. 問題練習			時間数 120	時間数			
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。							

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度
				科目コード		T-G04
時間数は4 5分換算						
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅳ			講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
4	通年	必修	30	1	遠藤 有貴	
授 業 の 目 的 ・ 目 標						
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などに参加するための科目である。						
授 業 の 概 要						
始業式、終業式、ハイキングや入学式、卒業式、卒業研究発表会、就職ガイダンスといった行事、さらには海外研修などに参加するための科目である。						
成 績 評 価 の 方 法						
出席点で評価。					出席点	100%
使用テキスト・教材						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション			4			
2. 前期成績発表			4			
3. 防災訓練			4			
4. 卒業研究発表会			8			
5. 進級発表			4			
6. 資格試験対策			6			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-G09	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
就職活動ゼミⅡ			講義・演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	前期	必修	30	1	植松 甫 横田 一輝 遠藤 有貴		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
就職活動をスムーズに行うための準備を行う。							
授 業 の 概 要							
自己表現をすることと、希望の会社・団体ついて学ぶことをバランスよく行う。 また、筆記試験対策も随時行っていく。							
成 績 評 価 の 方 法							
出席点で評価。						出席点	100%
使用テキスト・教材							
特になし。							
授業内容・授業計画							
			時間数				
筆記対策			10				
面接対策			10				
履歴書添削			10				
その他				関連科目			
。							

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2023 年度
時間数は45分換算					科目コード	T-SR25
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
クラウドコンピューティング			講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
4	前期	必修	60	2	遠藤 有貴	
授 業 の 目 的 ・ 目 標						
・仮想化技術や、クラウドサービスについてなどクラウドコンピューティングの基礎を学び、AWS Cloud Practitioner を取得できる程度の知識を得る。(任意受験) ・AWS クラウドの定義、課金の考え方を学ぶ。 ・AWS を活用した設計、構築ができるようになる。						
授 業 の 概 要						
仮想化技術やクラウドサービスの基礎的な知識を学んだうえで、世界3大クラウドと言われるAWSについて基本的な知識を習得します。そして実際にクラウド環境で業務を遂行するITエンジニアが必要とされる設計、構築技術を学びます。積極的に授業に参加しましょう。						
成 績 評 価 の 方 法						
日頃の課題提出で成績を付けます。					課 題	100 %
使用テキスト・教材						
AWSAcademy 教材						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
クラウドのコンセプトの概要			4	期末課題		4
クラウドエコノミクスと請求			4			
AWS グローバルインフラストラクチャの概要			4			
AWS クラウドのセキュリティ			6			
ネットワークとコンテンツ配信			8			
コンピューティング			10			
ストレージ			3			
データベース			6			
クラウドアーキテクチャ			5			
AutoScaling とモニタリング			6			
その他				関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2023 年度
				科目コード		T-SR26
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
クラウドシステム構築演習			講義・演習		高度 IT ビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
4	後期	必修	90	3	立花 俊輔 横田 一輝	
授 業 の 目 的 ・ 目 標						
・ AI (特に深層学習) について、なぜうまくいくのか中身を理解する ・ AI プログラミングのために必要な Python 基礎・応用までを学ぶ						
授 業 の 概 要						
授業ではまずは「AI とは？」からスタートします。Python の基礎を学び、AI プログラミングを作成してみます。併せて理論も学びます。						
成 績 評 価 の 方 法						
課題の提出状況および内容、出欠席状況で評価。					課 題	80%
					学習態度	20%
使用テキスト・教材						
・ ビジネス Python 入門 ・ AI 活用についての教材は企業様にて作成の教材を利用。						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
Python 基礎			4	イントロダクション		2
データ型と変数			4	パーセプトロン		4
入力を受け付けて計算する			2	NumPy 基礎		4
if 制御文			4	ニューラルネットワーク		6
while 制御文			2	ニューラルネットワークの学習		6
オブジェクトと繰り返し			4	畳み込みニューラルネットワーク		4
モジュールと関数			4	演習課題		4
組み込み関数			4			
演習			2			
Web スクレイピングプログラム			4			
matplotlib 演習			2			
NumPy 演習			2			
手書き文字認識プログラム			4			
顔認識プログラム			4			
AI 対戦リバーシプログラム			7			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2023 年度
時間数は4 5分換算				T-SR34	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
ネットワーク OS 応用			講義・演習		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	前期	必修	90	3	宮木 孝
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
・Linux の構築演習やネットワーク構築演習を行う。 ・LinuC レベル1 102 試験を受験できる知識を身に着ける。					
授 業 の 概 要					
Linux は、サーバ用途から、家電製品、情報機器の組み込み用途など多くの環境で利用されています。授業では、実際にサーバを利用し、Linux の運用や保守について操作しながら勉強します。					
成 績 評 価 の 方 法					
期末課題、LinuC 模擬試験の結果で評価します。					期末課題 60% 模擬試験 40%
使用テキスト・教材					
・「最短突破 LinuC レベル1 バージョン10.0 合格教本」河原木忠司 (著) ・CentOS8 で作るネットワークサーバ構築ガイド 30 40 =70 78					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
Linux 操作の復習		2	LinuC101 9 章練習問題		2
シェル環境のカスタマイズ		2	セキュリティ管理業務		2
シェルスクリプト		8	ホストのセキュリティ設定		2
LinuC101 6 章練習問題		2	暗号化のデータ保護		2
インターネットプロトコルの基礎		2	クラウドセキュリティ		2
基本的なネットワーク構成		2	LinuC101 10 章練習問題		2
基本的なネットワークの問題解決		4	オープンソースの文化		2
ネットワーク管理演習		6	LinuC101 11 章練習問題		2
LinuC101 7 章練習問題		2	模擬試験		4
アカウント管理		2	バージョン管理		12
ジョブ管理		2	期末課題① (DHCP サーバ)		8
LinuC101 8 章練習問題		2	期末課題② (シェルスクリプト)		10
システム時刻の保守		2			
システムのログ		2			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2023 年度
時間数は4 5分換算				T-SR40	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
組込みシステム開発演習			講義・演習		高度 IT ビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	前期	必修	90	3	稲葉 保志
授 業 の 目 的 ・ 目 標					
・マイコンボード、スマホ、ロボットなどの実機を用い組込みシステムを要件定義からプログラム開発、テストまでの一連の開発方法を学習する。 ・レゴロボットを教材とし、ET ロボコン参加に向けた開発を行う。					
授 業 の 概 要					
地元ソフトウェア企業の社員よりレゴロボットを教材とした組込みシステム開発を行う。 システム開発の手順に則り、UML 記法にて設計、実装を行う。開発プログラム言語はJava 言語を採用。授業の最後に競技大会を実施し、システム設計、走行時間を加味して優秀チームには、E Tロボコン東海大会に出場する機会を与える。					
成 績 評 価 の 方 法					
課題の取組み状況、システムの完成度、走行時間などで評価。					課 題 80% その他 20%
使用テキスト・教材					
プリント配布。					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		
EV3 の仕様について	2	プログラム設計	8		
ET ロボコン競技規約	2	レビュー	2		
基本技術トレーニング	6	プログラミング	18		
要求分析設計	6	単体テスト	6		
レビュー	2	結合テスト	4		
システム分析設計	4	システムテスト	2		
レビュー	2	走行テスト	4		
外部設計	6	競技会	6		
レビュー	2				
内部設計	6				
レビュー	2				
その他	関連科目				

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-SR44	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
企業課題Ⅱ			講義・演習		高度 I T ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	通年	必須	120	2	村松 芳博 横田 一輝 小針 恒雄		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
現代のビジネスパーソンに求められる能力に「会計の知識：財務諸表が読める」がよくあげられる。本講座では、財務3 表の見方、事業計画書の作成の仕方を講義・演習を通して習得することを目的としている。							
授 業 の 概 要							
財務3 表については、演習（読み方・簿記演習等）を通して理解していく。事業計画書についてはビジネスプランコンテスト（全国専門学校情報教育協会主催）を目標に、各自のビジネスプランを通して作成の仕方を理解していく。							
成 績 評 価 の 方 法							
演習課題の評価点（提出物については、別途指示する）と授業中の学習意欲、課題制作の成績、出欠席状況で評価する。						学習意欲	30%
						課 題	70%
使用テキスト・教材							
配布資料・「事業計画書」（日本能率協会マネジメントセンター） 情報処理教科書 出るところだけ！ 情報セキュリティマネジメント テキスト&問題集							
授業内容・授業計画							
1. 財務諸表の種類・貸借対照表 簿記の基本 2. ビジネスプランコンテスト準備 3. 情報セキュリティマネジメント試験対策			時間数				時間数
			30				
			30				
			60				
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-SR50	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
情報特別講義VI			講義		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	前期	必修	120	8	横田 一輝		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
基本情報技術者試験、IT パスポート試験、Java プログラミング能力認定試験等の合格を目指した対策授業である。							
授 業 の 概 要							
対策授業は決して楽な勉強ではない。しかし、資格合格を目指すという強い意志を持って勉強に臨んでほしい。また、本講義はこれまでに学んだすべての科目の総まとめの意味を持っておりそれぞれの科目の知識がしっかり繋がることで、より深く理解できることを期待する。							
成 績 評 価 の 方 法							
出欠席及び合格することなどで評価。						出欠席	90%
						その他	10%
使用テキスト・教材							
・基本情報技術者認定試験問題集（インフォテック・サーブ） ・応用情報技術者認定試験問題集（インフォテック・サーブ）							
授業内容・授業計画							
1. 問題練習			時間数 120	時間数			
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-SR51	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
海外研修			演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	後期	必修	60	2	植松 甫		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
国内だけではなく、海外の技術や文化に触れ、国際人・IT 技術者としてのレベルを高める。様々な体験からこれまで学習した英語力や最先端技術が通用するのか、確認する目的も含む。							
授 業 の 概 要							
言語の違いはもちろんであるが、国際人としての振る舞い、日本人代表としての姿勢を保つことも求められる。特に、文化の違いを受け入れ、人種を超えた多様な人間の存在に理解を示すことが重要である。海外独特の仕来りに順応し、言語の困難があっても対応できる対応力を身に付けて欲しい。							
成 績 評 価 の 方 法							
出席点で評価。						出 席	100%
使用テキスト・教材							
なし							
授業内容・授業計画							
1. 海外訪問			時間数 60				時間数
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-SR52	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
卒業研究			演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	後期	必修	150	5	植松 甫 横田 一輝 遠藤 有貴 野田 清文 和田 弘		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
今まで学習した内容を活かして、各自でテーマを決め研究・開発を行う。							
授 業 の 概 要							
研究・開発した内容を卒業論文として期限までに提出を義務付ける。							
成 績 評 価 の 方 法							
論文、発表の内容で評価。						研究内容	100%
使用テキスト・教材							
なし							
授業内容・授業計画							
1. 各研究作業			時間数 150				時間数
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		T-SS01	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
インターンシップ			講義・演習		高度 IT ビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	通年	必修	90	3	遠藤 有貴		
授 業 の 目 的 ・ 目 標							
「各種コンテスト課題制作」との必須選択科目である。 内定先企業等の要望によりインターンシップが必要な学生はこちらの科目を選択する。							
授 業 の 概 要							
企業等へ出向き企業担当者の指示に従い作業をおこなう。事前に企業と学校とのインターンシップの連携契約を結ぶこと。原則、1回／週は登校し報告書の提出が義務付けられる。 インターンシップが45 コマに満たない場合は、「各種コンテスト課題制作」にて充当する。							
成 績 評 価 の 方 法							
インターンシップの終了、報告書の提出が義務付けられる。						報告書	100%
使用テキスト・教材							
なし							
授業内容・授業計画							
1. インターンシップ			時間数 90	時間数			
その他			関連科目				

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2023 年度		
				科目コード		T-SS02		
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース			
各種コンテスト課題制作			講義・演習		高度 IT ビジネス科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
4	前期	必修	90	3	植松 甫 横田 一輝 遠藤 有貴 和田 弘 野田 清文			
授 業 の 目 的 ・ 目 標								
ブレ卒研の位置づけで作品の制作を行います。個人、もしくはグループで卒業研究のベースとなるアイデアを出し、テーマを絞り開発を進めます。								
授 業 の 概 要								
3年間学習した知識を基に一から作品作りをします。ブレ卒研の気持ちで取り掛かるようにしてほしいと考えています。各分野の専門の講師が代わるがわりに指導に入るので、分からないところがあれば適宜質問をしてください。延長上として卒業研究を見据えてください。								
成 績 評 価 の 方 法								
成果物で評価。						成果物 100%		
使用テキスト・教材								
授業内容・授業計画								
各種作業			時間数 90	時間数				
その他				関連科目				
。								